

参考資料 1

令和元年東日本台風に伴う浸水状況聞き取り調査

令和2年9月

東京都狛江市

目 次

1. 調査の概要.....	1
2. 調査結果.....	6
2-1 調査結果概要.....	6
2-2 浸水状況.....	6
2-3 浸水の深さ.....	7
2-4 浸水発生時刻等.....	7
2-5 粕江市への要望.....	11
2-6 関係者への要望.....	19

1. 調査の概要

狛江市では、令和元年台風第 19 号(令和元年東日本台風)に伴う浸水状況の実態を把握するため、「令和元年 10 月の台風第 19 号に伴う浸水状況聞き取り調査」を実施した。

本資料は、調査結果の概要を取りまとめたものである。

【調査対象】

令和元年台風第 19 号に伴い浸水被害(床上・床下)が発生した次の地域の家屋(301 棟)

駒井町一丁目、駒井町三丁目、猪方二丁目(南部第2排水区)

中和泉四丁目、中和泉五丁目、西和泉一丁目、西和泉二丁目(根川排水区)

【調査方法】

委託した調査会社の調査員が各戸を訪問し、浸水状況について聞き取りを行う。

【調査項目】

浸水の程度、浸水の深さ、浸水が始まった時刻等の浸水状況に関する項目。

調査の「お知らせ」及び「調査票」を次ページに示す。なお、調査票は、調査員が聞き取った内容を直接記入し、許可が得られたものについては、現地にてメジャー計測及び写真撮影を行った。

令和元年 10 月の台風第 19 号に伴う浸水状況 聞き取り調査を実施します(お知らせ)

本市では、令和元年 10 月の台風第 19 号（令和元年東日本台風）に伴い排水樋管周辺の多くの地域で浸水被害が発生いたしました。被害にあわれた地域のみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。

浸水状況の実態を把握するため、調査員が浸水被害にあわれたお宅を訪問し、浸水状況に関する聞き取り調査を実施いたします。

浸水の状況を把握し、今後の対策検討に役立てるための大切な調査となりますので、対象となられた皆様におかれましては、調査へのご理解、ご協力をお願いいたします。

調査期間：令和 2 年 3 月 5 日～末日（予定）

調査対象：次の地域で浸水被害(床上・床下)が発生した家屋（約 300 棟：予定）
駒井町一丁目、駒井町三丁目、猪方二丁目、中和泉四丁目、
中和泉五丁目、西和泉一丁目、西和泉二丁目

調査方法：下記調査会社の調査員がお宅を訪問し、浸水状況について 聞き取りを行う
※調査員は身分証を携帯し、狛江市の腕章をしています。

調査項目：浸水の程度、浸水の深さ、浸水が始まった時刻等の浸水状況に関する項目

問い合わせ先

調査会社名：日本水工設計株式会社

所在地：東京都中央区勝どき3丁目 12 番1号

電話番号：03-3534-5512 （担当：山田、酒井、小塚）発注者

狛江市環境部下水道課 TEL:03-3430-1111

（担当：松本）

お知らせ別紙

アパート等の集合住宅にお住まいの方へ

本調査は、浸水被害が発生した家屋での浸水状況を把握するための調査であるため、同じ建物内で調査時に回答いただける方がいらっしゃった場合には、代表してお話を伺いますので、必ずしも全戸を訪問するわけではございません。

お伺いしない場合もございますので、ご了承ください。

狛江市台風第19号 浸水状況 聞き取り調査票

調査票No.		所在地	
調査員氏名		調査年月日	2020年 月 日

令和元年10月の台風第19号に伴う浸水の状況についてお伺いします。

問1. (1) 浸水の状況はどの程度でしたか。 ()

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 床上浸水した | 3. 前の道路が冠水した |
| 2. 床下浸水した | 4. わからない |

(2) その時の浸水の深さはどの程度でしたか。 どこから ()
(c m程度)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 道路面から | 3. 床面から |
| 2. 宅盤（敷地の地盤高）から | 4. わからない |

(3) 浸水が始まった時刻は分かりますか。 (日 時頃)

(4) 浸水のピーク時刻は分かりますか。 (日 時頃)

(5) 水が引いた時刻は分かりますか。 (日 時頃)

問2. (1) 今回の浸水被害を受けて狛江市に望むことは何ですか。複数回答可 ()

1. もっとこまめに情報を出してほしい
2. もっとハード対策（水路の改修やポンプの設置など）を進めてほしい
3. もっと防災訓練や避難訓練をやってほしい
4. もっと防災教育（防災カレッジや学校教育など）をやってほしい
5. もっと被災時の支援（補助金や税制措置等）を増やしてほしい
6. もっと避難所を快適にしてほしい
7. その他

狛江市台風第 19 浸水状況 聞き取り調査票

(2) 狛江市以外の関係者に望むことは何ですか。 誰に()

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 国（国土交通省） | 4. 町内会や自治会 |
| 2. 国（政府） | 5. テレビ・ラジオ等のマスコミ |
| 3. 東京都 | 6. その他（具体的に) |

何を

(3) その他ご意見があれば、お聞かせください。

2. 調査結果

2-1 調査結果概要

調査は、集合住宅を含め全 317 件に対し、各戸訪問により聞き取りを実施した。ここでの回答率は、各地区での回答件数を調査件数で割った割合を示す。

表 2-1 調査件数、回答件数

地 区	調査件数	回答件数	回答率
狛江南部第 2 排水区	287	235	82%
根川排水区	30	30	100%
全地区	317	265	84%

2-2 浸水状況

各戸の浸水状況については、回答件数 265 件の 29%にあたる 76 戸で床上浸水、48%にあたる 128 戸が床下浸水であった。ここでの回答率は、回答件数 265 件に対する割合を示す。その他は、ガレージ等の浸水であった。

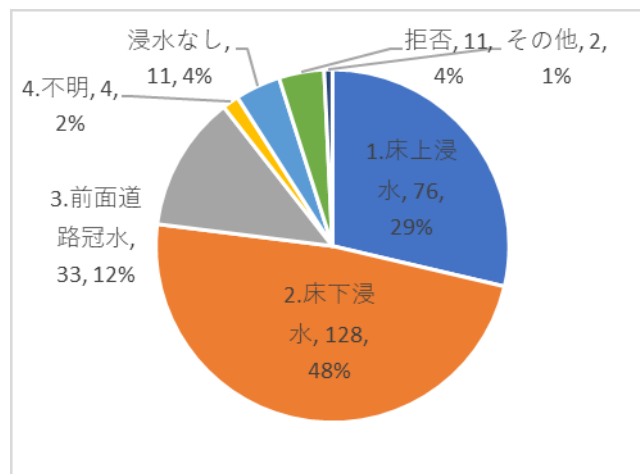


図 2-1 浸水状況回答分布

表 2-2 浸水状況調査結果

項目	回答数	回答率
1. 床上浸水	76	29%
2. 床下浸水	128	48%
3. 前面道路冠水	33	12%
4. 不明	4	2%
浸水なし	11	4%
拒否	11	4%
その他	2	1%
合計	265	100%

2-3 浸水の深さ

浸水の深さは、各家屋の構造により、道路面から100cmの浸水であっても前面道路の冠水で自宅の被害には至らないケースもあり、単純に深さだけでは被害の状況が判断できない。

これらの値は、シミュレーションによる浸水深と比較する際に参考として利用した。

2-4 浸水発生時刻等

浸水発生時刻、浸水ピーク時刻、浸水終息時刻をそれぞれ聞き取った。

(1) 狛江南部第2排水区の浸水発生時刻等

狛江南部第2排水区では、浸水開始時刻及び浸水ピーク時刻に対しては38%及び41%の回答があり、浸水解消時刻に対しては26%の回答であった。浸水解消時刻が深夜だったため回答数が少なくなっているものと推定される。

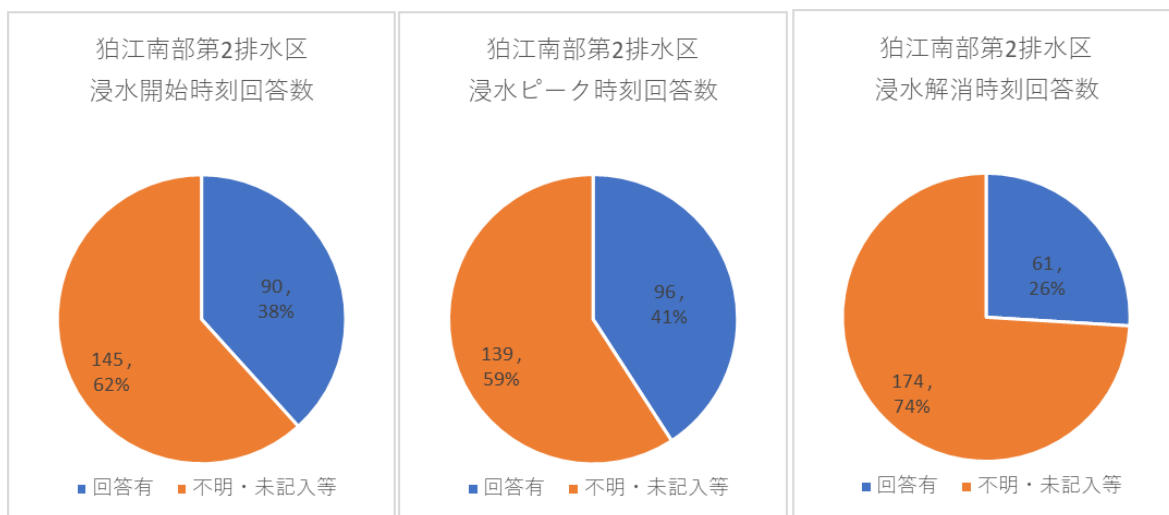


図 2-2 各時刻についての回答状況 (狛江南部第2排水区)

表 2-3 各時刻についての回答状況 (狛江南部第2排水区)

地区	回答種別	浸水開始時刻	浸水ピーク時刻	浸水解消時刻
狛江南部第2排水区	回答有	90 (38%)	96 (41%)	61 (26%)
	不明・未記入等	145 (62%)	139 (59%)	174 (74%)
	合計	235	235	235

※ ()書きは、合計に対する割合

各浸水時刻の分布状況のグラフを次ページに示す。

浸水開始(浸水が始まった)時刻は、最も早い時刻で12日16時頃から報告されており、21時をピークに13日1時頃までとなっている。浸水のピーク時刻は、12日21時から13日0時の間の回答が多くなっている。浸水解消(水が引いた)時刻は13日0時から8時頃までと回答されている。

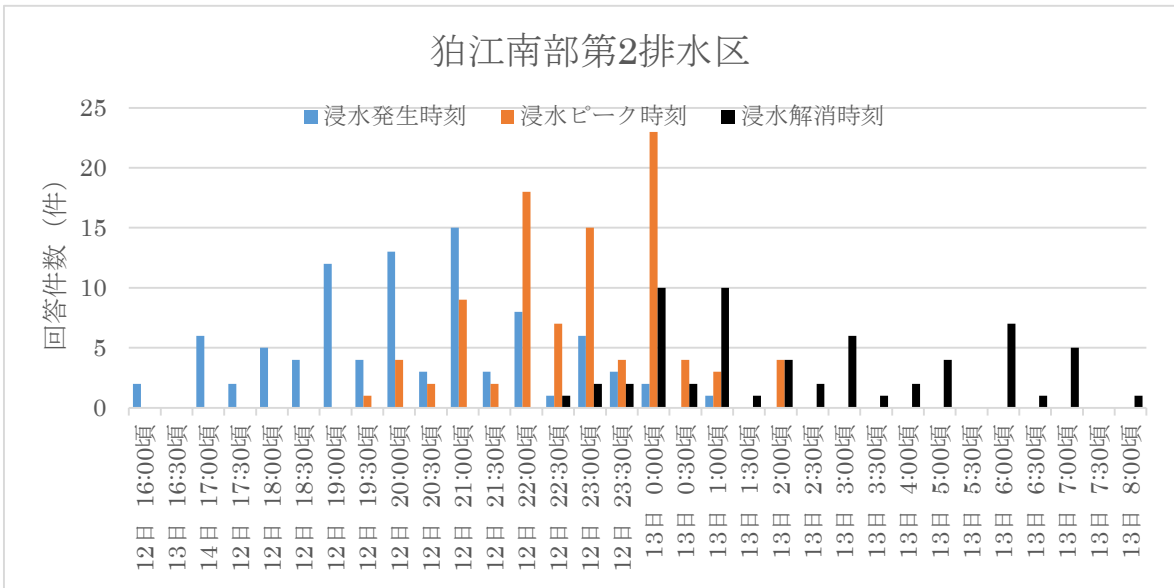


図 2-3 回答時刻の分布状況（狛江南部第2排水区）

表 2-4 各時刻の回答数（狛江南部第2排水区）

生起時刻	浸水開始	浸水ピーク	浸水解消	生起時刻	浸水開始	浸水ピーク	浸水解消
12日 16:00頃	2	0	0	13日 0:00頃	2	23	10
13日 16:30頃	0	0	0	13日 0:30頃	0	4	2
14日 17:00頃	6	0	0	13日 1:00頃	1	3	10
12日 17:30頃	2	0	0	13日 1:30頃	0	0	1
12日 18:00頃	5	0	0	13日 2:00頃	0	4	4
12日 18:30頃	4	0	0	13日 2:30頃	0	0	2
12日 19:00頃	12	0	0	13日 3:00頃	0	0	6
12日 19:30頃	4	1	0	13日 3:30頃	0	0	1
12日 20:00頃	13	4	0	13日 4:00頃	0	0	2
12日 20:30頃	3	2	0	13日 5:00頃	0	0	4
12日 21:00頃	15	9	0	13日 5:30頃	0	0	0
12日 21:30頃	3	2	0	13日 6:00頃	0	0	7
12日 22:00頃	8	18	0	13日 6:30頃	0	0	1
12日 22:30頃	1	7	1	13日 7:00頃	0	0	5
12日 23:00頃	6	15	2	13日 7:30頃	0	0	0
12日 23:30頃	3	4	2	13日 8:00頃	0	0	1

(2) 根川排水区の浸水発生時刻等

根川排水区では、浸水開始時刻、浸水ピーク時刻とも 77%の回答があり、浸水解消時刻の回答は、67%と 10%程度少なくなっている。

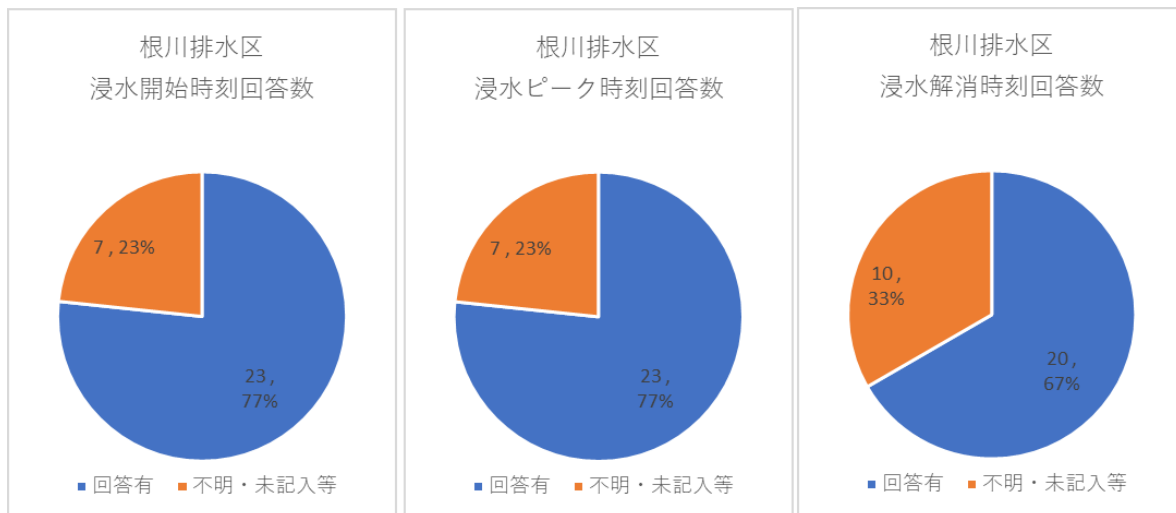


図 2-4 各時刻についての回答状況（根川排水区）

表 2-5 各時刻についての回答状況（根川排水区）

地区	回答種別	浸水開始時刻	浸水ピーク時刻	浸水解消時刻
根川排水区	回答有	23 (77%)	23 (77%)	20 (67%)
	不明・未記入等	7 (23%)	7 (23%)	10 (33%)
	小計	30	30	30

各浸水時刻の分布状況のグラフを次ページに示す。

浸水発生時刻は、最短 12 日 15 時頃から 13 日 0 時頃まで報告があるが、12 日 17 時が最も多い。

浸水のピークは 12 日 22 時 30 分頃から 13 日 2 時頃まで報告がある、23 時 30 分が最も多くなっている。

浸水の解消は 13 日 2 時頃から 7 時頃まで報告されている。3 時頃の回答が最も多い。

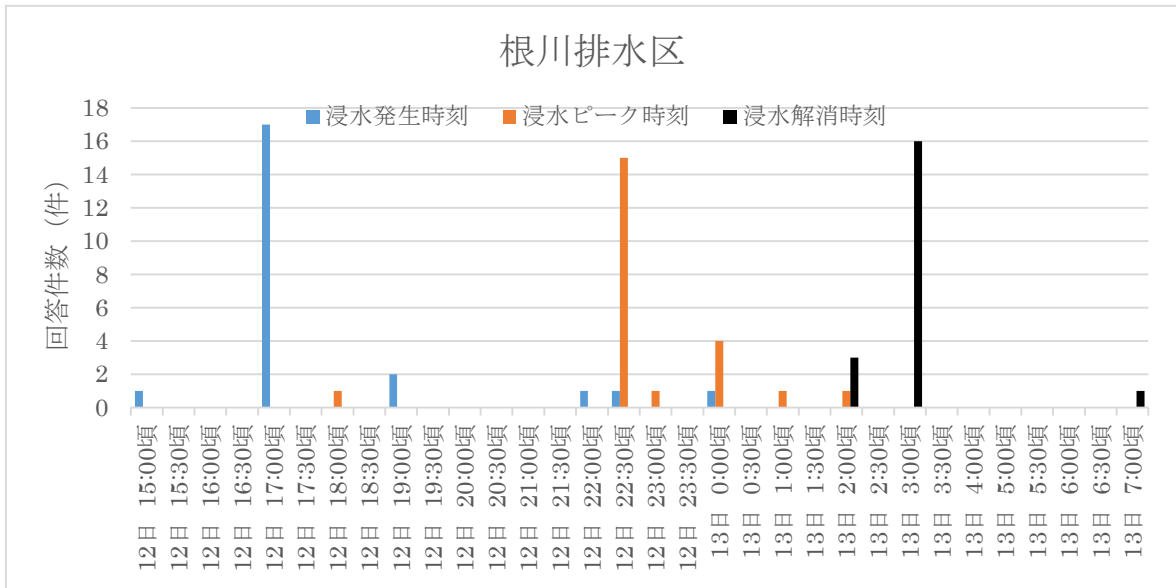


図 2-5 回答時刻の分布状況（根川排水区）

表 2-6 各時刻の回答数（根川排水区）

生起時刻	浸水開始	浸水ピーク	浸水解消	生起時刻	浸水開始	浸水ピーク	浸水解消
12日 15:00頃	1	0	0	12日 23:00頃	0	1	0
12日 15:30頃	0	0	0	12日 23:30頃	0	0	0
12日 16:00頃	0	0	0	13日 0:00頃	1	4	0
13日 16:30頃	0	0	0	13日 0:30頃	0	0	0
14日 17:00頃	17	0	0	13日 1:00頃	0	1	0
12日 17:30頃	0	0	0	13日 1:30頃	0	0	0
12日 18:00頃	0	1	0	13日 2:00頃	0	1	3
12日 18:30頃	0	0	0	13日 2:30頃	0	0	0
12日 19:00頃	2	0	0	13日 3:00頃	0	0	16
12日 19:30頃	0	0	0	13日 3:30頃	0	0	0
12日 20:00頃	0	0	0	13日 4:00頃	0	0	0
12日 20:30頃	0	0	0	13日 5:00頃	0	0	0
12日 21:00頃	0	0	0	13日 5:30頃	0	0	0
12日 21:30頃	0	0	0	13日 6:00頃	0	0	0
12日 22:00頃	1	0	0	13日 6:30頃	0	0	0
12日 22:30頃	1	15	0	13日 7:00頃	0	0	1

2-5 狛江市への要望

ここでは、複数回答のため、回答率は聞き取り調査の回答件数 265 件に対する回答数の%を示す。

狛江市に対する要望は、ハード対策の推進を望む声が最も多く 59%、次いでこまめな情報提供が 48%、避難所に関する要望が 35%、清掃や消毒、助成や補助金等の支援を望む声が 31%となっている。

表 2-7 狛江市への要望（複数回答）

	項目	回答数	回答率
1	こまめな情報提供	127	48%
2	ハード対策の推進	157	59%
3	防災・避難訓練の実施	22	8%
4	防災教育の実施	25	9%
5	被災時の支援（補助等）	81	31%
6	避難所の充実	94	35%
7	その他	27	10%

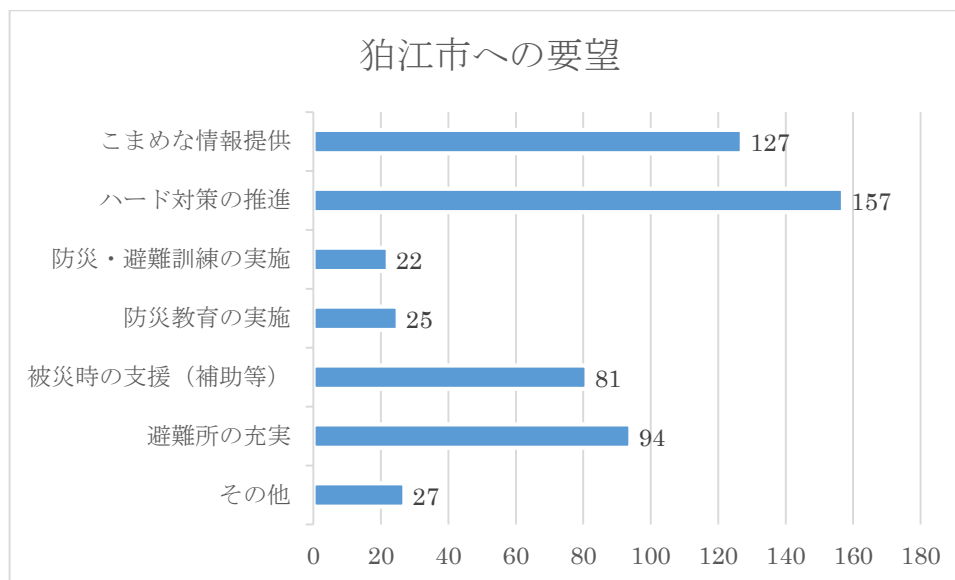


図 2-6 狛江市への要望の分布状況（複数回答）

狛江市への要望の具体的な内容を次ページ以降に記載する。

○情報伝達等についての要望事項

(HP等)

- ・狛江市のHPにアクセスが集中していたためか、利用しづらかった。
- ・狛江市のHPがアクセス集中のためか見られなかった。防災無線が聞こえなかった。
- ・インターネットに慣れない高齢者が多くいるので、HP以外からも情報や通知を受け取れるようにしてほしい。

(避難所等)

- ・避難前に避難所がまだ満員でなく利用可能か教えてほしかった。
- ・今後道路から4mくらい浸水が発生する可能性があるとのことなので、どこに避難すればよいか教えてほしい。
- ・洪水などが起きた際に避難場所が分かるようにしてほしい。
- ・避難所へのペット同伴や車での避難をしていいのか等、情報がもっとほしい。
- ・避難所が満員になっていて避難ができなかったため、せめて空き状況などが分かるようにしてほしい。
- ・避難所で情報が手に入らなかった。
- ・どこに避難すべきなのかわかりづらい。
- ・避難の時どこに情報を求めているのかわからなかった。

(防災情報)

- ・土のうなどで家の防護が可能なら方法を教えてほしかった。

(防災放送)

- ・市内放送などでもっと情報を提供してほしい。個人で判断して行動するのは難しい。
- ・避難時の必需品等をアナウンスで情報提供してほしい。
- ・アナウンスが聞こえなかった。
- ・避難のアナウンスは聞こえず、徒歩で避難するのが難しかったので、避難しなかった。
- ・情報提供のアナウンスがほしい。
- ・わかりやすい情報提供や説明等、避難場所での情報提供をしてほしい。
- ・放送がよく聞こえなかった。
- ・災害発生当日は雨風が強く、防災放送が聞こえなかった。できるだけ早い情報提供が重要。

(防災メール)

- ・当日世田谷区からは緊急連絡のメールが届いたのだが、狛江市からは何もなかった。狛江市もやるべき。
- ・狛江市の情報が不足しており、避難のタイミングがつかめなかったため、川崎市の情報を頼りにするしかなかった、改善してほしい。

(河川情報等)

- ・水門操作に関して市の把握していた状況が実際の現場状況と食い違っていたが、間違っていないと押し通された。
- ・川の水位を映像などでもっとわかりやすくしてほしい(ライブカメラ等)。

- ・水門の開閉についての情報をちゃんと示してほしい。

(相談等)

- ・浸水後、清掃などの業者を市の方から教えてほしかった。
- ・廃棄物収集に関しての情報がほしい。
- ・清掃作業や消毒、ごみの処理など浸水後の生活再建のための情報提供が必要だった。
- ・狛江市のどこの課に電話で相談すればよいのかわからなかった。
- ・狛江市役所に電話すると、「日、月は祝日のため、普段委託している排水業者が休みで紹介できない。それ以外の業者については、私たちがインターネットで探すという、皆さんと同じ方法しかない。個人でやるしかない」という旨を伝えられ、何も情報は得られなかった。過去に水害のあった街なのに、なんの情報もないのか、台風は予測できたことなのに、その後の策は何も考えていなかったのか・・・と愕然とした。

(浸水原因等)

- ・狛江市民が、災害が起きた原因の事実関係を把握できるよう情報がほしい。
- ・デマが出回って困惑する前に、狛江市からの正確な情報提供をしてほしかった。

(情報入手等)

- ・スマートフォンがないので情報が手に入らなかった。
- ・携帯電話しかもっていないなくても必要な情報が得られる方法を考えてほしい。

(周辺巡回)

- ・避難勧告だけではなく、消防の方に周辺の見回りをしてもらえないのか。

○施設整備・運用についての要望事項

(被害防止)

- ・今回のような被害が起きる可能性があることをもっと周知できたはず。臨機応変な対応を望む。
- ・今回のような事態でも排水が滞らず、多摩川からの逆流が発生しないようにしてほしい。
- ・今回のような被害が起きないように対策してほしい。
- ・今回の浸水で低地にあり被害に遭いやすいと分かったところには市役所が土のうを配ってほしい。
- ・今回のような浸水被害が将来的にも起こりうると思うので、具体的な対策案を検討してほしい。
- ・家が水路と道路の間にあり、道路側の方が高くなっているため、水路側に流れ込む水で浸水した。幾度となく浸水被害にあっているので改善をお願いしたい。
- ・近所の多摩川の支流は何度も氾濫しているので対処してほしい。

(多摩川堤防等)

- ・もっと大きな台風が来た時でも耐えられるように堤防を作ってほしい。
- ・堤防が低くなっているので補修してほしい。浚渫工事を毎回適切に行い、今の水量が多い時代に合ったものを。

(治水等)

- ・荒川にあるような貯水池を作ってほしい。

- ・地域の治水能力が十分ではないのではないか。
- ・現在、市議や区議に働きかけて貯水池を作るように訴えている。
- ・供養塚公園の地下に遊水池を設置してほしい。

(下水道等)

- ・下水道の整備をお願いしたい。
- ・対策もしっかりと行ってほしい。
- ・排水設備の復旧対応が遅かった。
- ・マンホールから水が噴き出す等の問題が発生しないように、排水設備の整備をしてほしい。
- ・猪方排水樋管に強力なポンプを設置してほしい。
- ・下水がまたあふれてこないように対策してほしい。
- ・水門の管理人にもっとちゃんとしたマニュアルが必要なのではないか。
- ・狛江市の水門の操作についての説明が不可解で疑念が残った。
- ・強力なポンプの設置を早急をお願いしたい。
- ・泥水はさらに増え、玄関の階段を上がって、玄関の入口の高さに近づいてきた。市役所は何をしているんだ。市役所へ電話をした。「水があふれて家の中に入りそうだ。何とかしてくれ。」「ポンプで排水できないのか。」「市役所の回答は「下流との関係ですぐにはできません。消防団は待機中です。」「ふざけんな。家の中まで浸水したらどうしてくれるんだ。市役所で責任をとるのか。」と電話で怒鳴ったが、暖簾に腕押しであった。
- ・10月15日、側溝は泥が堆積している状態で、次に雨が降ればまた冠水することは容易に想像できた。市役所にバキューム車の要請をしたが、業者が他で手一杯で予定が立たないとの事。予報では3日後にも雨が降る。急を要するので、知り合い伝いで都議会議員にバキューム車の手配をお願いした。

○訓練・教育についての要望事項

- ・土のうなどで家の防護が可能なら方法を教えてほしかった。
- ・住民一人ひとりの防災意識を高め、適切な行動をとれるようにすること。
- ・住民の防災意識が低いことが問題の一つだと感じたので、避難訓練など、防災意識や知識の底上げをしてほしい。
- ・狛江市の人も今回のような事態に対応しきれていないようなので勉強してほしい。

○避難所についての要望事項

(規模)

- ・避難所が満員状態で避難できなかった。
- ・避難所の狛江第二中学校が狭く、すぐいっぱいになってしまった。

(立地)

- ・狛江第二中学校は低地にあるので避難所としては不安である。
- ・避難所に指定されている近隣の学校は地盤が低く、3階以上を避難所として使えるよう早急に

対応してほしい。

- ・避難場所の地盤が低く、家とさほど変わらない場所だったので、避難しても安心できない。
- ・狛江第二中学校は地盤が低いため、同じような浸水が発生したとき不安。

(増設)

- ・近くにある第六小学校が解放されていなかったなので、今後はすぐ使えるようにしてほしい。
- ・第六小学校を避難所として使えるようにしてほしい。
- ・避難所が不足している。
- ・避難所を増やしてほしい。
- ・狛江第六小学校がより近くにあるのに、狛江第二中学校に行くよう指示された。
- ・避難所の数を増やしてほしい。

(設備)

- ・避難時の必需品等を避難所でも備蓄しておいてほしい。
- ・避難所にペットも避難できるようにしてほしい。
- ・避難所の最低限の備えとして飲み水とトイレの整備をしてほしい。
- ・避難所に高齢者用のイスやベッドを増やしてほしい。ペット同伴で避難できるようにしてほしい。
- ・狭くて不満だった。またペットの避難ができなかった。
- ・避難所の設備に不足がある。

(対応)

- ・避難時にちゃんと誘導してほしかった。
- ・避難所が満員だったので、きちんと対応してほしい。
- ・高齢者の避難時の対応の仕方をもっと明確にしてほしい。
- ・避難所の備品(毛布や食料等)を充実させてほしい。
- ・高齢者や体が不自由な人への対応をもっと考えてほしい。
- ・避難所の教室が教育委員会の管轄のため開放してもらえず、別の場所に行くように言われた。
- ・要介護者や障害のある人にも避難所を利用できるような態勢を整えてほしい。独り暮らしの高齢者や車いすで生活する人などへの助けは絶対必要なので。家の前が冠水したままなのに帰宅させられた人がいるのはおかしい。
- ・介助なしでは動けない高齢者はどうしたらいいのか。またどの段階で避難をすべきなのかわかりづらかった。
- ・水が引いていないにも関わらず 12 日 20:30 には避難所を出るように言われ困った。
- ・狛江第三小学校を避難所として開放するのが遅かった。
- ・市役所を避難所として使わせてもらえて助かった。
- ・高齢の方や病気の方は避難所で肩身が狭い思いをする。食料などを持参することなども難しいため、人命にかかわる問題として配慮してほしい。
- ・要配慮者の家屋が孤立してしまうことへの対応。
- ・狛江第二中学校は元々避難所として使われる予定ではなく、自宅から 30 分以上離れた場所に避難しろと指示されていた。避難所には市の人間は2人しかおらず、不足していると思った。

- ・避難所の開設が遅い、前日には開設して備えておくべき。
- ・高齢者の避難対策、災害補助の充実などを、ぜひ早急をお願いしたい次第です。
- ・人命を第一として避難所を早く開けてほしい。

○清掃・洗浄についての要望事項

- ・多摩川住宅では床下の消毒などを市が対応したそうだが、自分の住んでいる地域では行われなかった。地区ごとに対応に差があるのはおかしい。
- ・家の中の泥を洗い流すのが大変だったので、狛江市にも支援してほしい。
- ・家屋に染み付いた泥が取れず困った。
- ・道路清掃の対応が遅かった。床下の汚泥の清掃がいまだできておらず、このままでいいのか。
- ・床下の洗浄・消毒を助けてほしい。
- ・床下浸水の家屋の床下消毒を市役所をお願いしたい。
- ・災害後の個人宅での後処理をもっと迅速に行ってほしい。
- ・業者と役所の間で連携して行ってほしい。
- ・家の中の水や泥、ダメになった家具等の廃材の処理に力になってもらえず、個人任せにされ、親身でないと感じた。
- ・ゴミを回収する業者と被害状況記録の業者の連携が取れていなかった。
- ・団地の中央にある公園はいまだに雨の日に泥水が出てくるので狛江市で除菌清掃してもらえないか依頼したが、対応してもらえなかった。
- ・市から業者が下水、雨水管の清掃に大きなポンプ車で来たので、自宅の床下浸水の排水はしてもらえないか、頼んだところ、自宅の浸水は自分で業者に頼んでするようにとの返事があった。
- ・毎日仕事から戻ってから片付けに追われ、膨大なごみを出しました。市でどンドン持って行ってくれたのは大変助かりました。
- ・床上消毒だけでなく、床下消毒も助成してほしい。
- ・10月13日夕方、市役所清掃課の方が来て、災害ごみの出し方を説明された。災害ゴミを順次引き取りに来てくれると聞いて少し安心した。
- ・狛江市の土木課の職員、清掃課の職員などが巡回してくれ水害を受けた家具や電化製品などの引取など順次進むように手配してくれた。その進め方が最善だったのか、後手に動いていたのかわからないが今後どう対処していくかは課題であると思う。
- ・狛江市が被害で出たものは無料で引き取る対応がとられた。

○助成・補助金等についての要望事項

- ・車と前庭が浸水して損害が出たので補助金がほしい。
- ・床下浸水だけでは罹災証明が出ないと言われた。床下浸水の家屋に対しても調査や対策、事後処理などの助成をちゃんと行ってほしい。
- ・復旧に500万円近くの費用がかかったので市の方で負担してもらえないか。説明会に参加でき

- なかったので、税金控除などがあるなら教えてほしい。
- ・調布市では床上浸水の高さにかかわらず、半壊認定の補償だが、狛江市では 60cm 以下は準半壊に認定され、補助金などに大きな差が出た。
 - ・罹災証明を取得しようと思い、狛江市に行ったが復旧などにかかった費用は払えないといわれたので出さなかった。
 - ・居住者に建物の床下浸水の援助金は出されたが、公園などの団地の設備を整備するお金は援助してもらえなかった。
 - ・10 月 17 日、狛江市には依然として災害救助法が適用されていない。被害は大きいのに、国からの支援を受けることはできないのか、災害救助法は災害に遭った国民に早急かつ平等な支援をするための法ではないのか？10 月 18 日、朝から市役所へ行き、災害救助法の適用を求めた。しかし、今からの適用は難しいと断られた。10 月 19 日、適用が遅れた理由はわからないが、狛江市に 10 月 12 日に遡って災害救助法が適用された。

○その他の要望事項

- ・道路に残った泥を狛江市が取りに来てくれたのはありがたかった。
- ・狛江市の対応は良かったと思う。
- ・清掃などで対応していただけたので、狛江市の方にはよくやっていたと思う。
- ・狛江市が道路の清掃に早急に対応してくださったことは感謝している。
- ・防災計画の想定が甘いのではないかと疑問に思った。
- ・職員は努力していないと思う。
- ・市の方が状況を確認しに来てくれたのは良かったと思う。
- ・浸水翌日にゴミ回収に来てくれて助かった。
- ・今回の浸水原因を明確に住民へ報告してほしい。
- ・世田谷区や近隣の市区町村と協力して対策に望むこと。国からのバックアップを得ること。
- ・猪方排水樋管を開けたまま担当者が避難する等聞いたことがない。浸水土砂は人災である。
- ・家の前の私道に泥が多く流れて大変困った。畑を所有するのは構わないが、畑から泥が流れないように塀を作るなど管理の方法について市でルールを作るなどの対策を強く望みます。
- ・このくらいの被害で済んでよかった。
- ・狛江市の対策が先送りにならないように5月には日本水工に対策案を出してほしい。
- ・狛江市の被災者説明会の2回目がいつまで経っても行われず、1回目の説明会の時の質問への回答がない。
- ・市民一人ひとりが対策できるマニュアルを今後のためにも作ってほしい。
- ・庭先だけの浸水で済んだが、狛江市が造園業者を手配して対応してくれたので助かった。
- ・被害者相談窓口の設置が遅く、職員も日替わり対応だったため、知識や相談内容の共有ができておらず不満が募った。狛江市民に寄り添い、助けようとする姿勢が感じられなかった。
- ・災害が再び起きないようにお金を使ってほしい。被害があったときの届け出や写真などを集めたマニュアルがほしい。

- ・調布市と比べ狛江市は対応が遅い。
- ・市役所の方は親切でとても良かったです、やはりいつまでも終わらない片付けと、忘れた頃に家の不具合が出てきたりして、全てが解決となるのにすごく時間がかかっているの、それがすごいストレスでした。

2-6 関係者への要望

ここでは、複数回答のため、回答率は聞き取り調査の回答件数 265 件に対する回答数の%を示す。

関係者への要望は、国(国土交通省)への要望が最も多く、32%、次いで国(政府への要望)が23%、東京都への要望が15%となっている。

表 2-8 関係者への要望（複数回答）

項目		回答数	回答率
1	国（国土交通省）への要望	84	32%
2	国（政府への要望）	62	23%
3	東京都への要望	39	15%
4	町内会や自治会への要望	1	0%
5	テレビ・ラジオ等のマスコミへの要望	5	2%
6	その他	16	6%

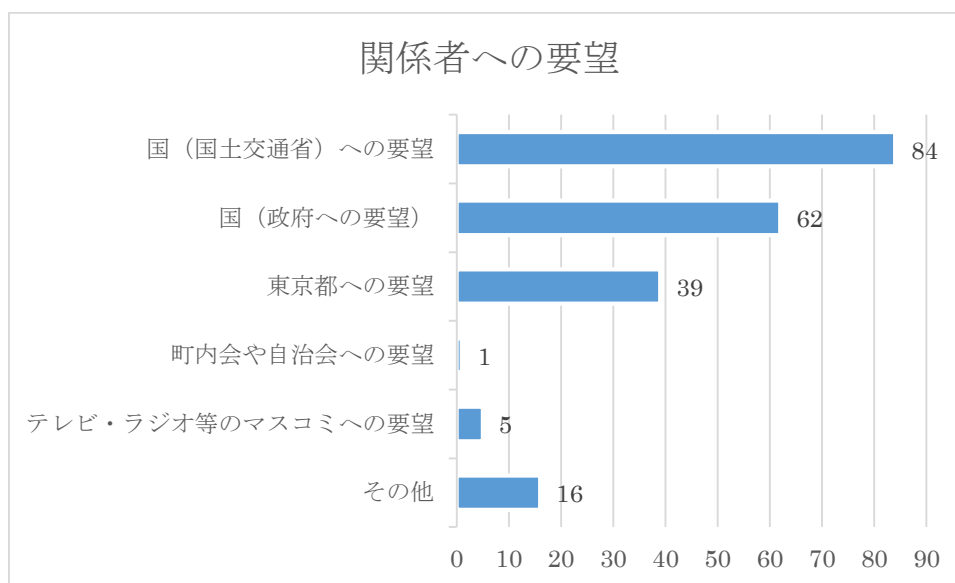


図 2-7 関係者への要望の分布状況（複数回答）

関係者への要望の具体的な内容を次ページ以降に記載する。

○多摩川の整備に関する要望

(堤防等の嵩上げ)

- ・多摩川の堤防を作るべきだが、狛江市の予算ではできないので、国や東京都の方で柔軟に対応してほしい。
- ・多摩川の整備(低地になっている土手のかさ上げと河床の砂利等の浚渫工事)と排水樋管への排水能力の高いポンプと雨水貯留設備の設置のための市への助成。
- ・河川の状況を把握してほしい。土手を上げて溢れないようにしてほしい。排水、下水を拡張してほしい。水門を上げていれば内水の氾濫は起きなかったのではと思う。

(河床掘削等)

- ・多摩川の改良工事は11月に施工予定といていた筈が、まだ行われていない。
- ・多摩川の水位を下げる工事を行ってほしい。以前は小川が排水の役割を担っていたので、そこらも利用し再発を防止してほしい。世田谷区にも受け皿の役割を担ってほしい。公園等の下に貯水槽を作ってほしい。
- ・多摩川の川床が上がっていることが問題であるので、京浜河川事務所に働きかけて、早急に川床を掘り下げてほしい。

(遊水地の整備等)

- ・自治体の財政面によって復旧整備に差があるのを実感した。そういった差を国が埋めるべきなのではないか。また多摩川への排水を緩やかにする遊水地がほしい。
- ・多摩川の上流には緩衝の役割としての遊水地がないため、流域の市区町村で協力して作ってほしい。
- ・多摩川への排水が一時貯水できる遊水地をつくり大雨でも耐えられるようにしてほしい。
- ・市区によっては遊水地があるので、多摩川の流域でも徹底してほしい。
- ・遊水地を作って多摩川に流れ込む水量を緩やかにしてほしい。

(治水対策)

- ・今回のような事態にも対応できるようにしっかりしてほしい。河川や下水道が逆流しないようにしてほしい。
- ・排水が確実に機能するように専門家に検討案を作ってもらいたい。
- ・多摩川の整備をしてほしい。
- ・多摩川関連で被害が起きないようにしてほしい。
- ・多摩川をもっとしっかり管理してほしい。
- ・治水機能をもっと強化してほしい。
- ・多摩川の治水整備をしてほしい。住宅地の敷地高を上げておくべき。
- ・多摩川の治水対策に力を入れてほしい。
- ・多摩川の管理をしっかりして、治水整備も行ってほしい。
- ・治水の強化と水門の管理体制の強化をしてほしい。
- ・排水をしっかりしてほしい。
- ・対策を進めてほしい。

(清掃等)

- ・多摩川堤防に漂着した流木と落ち葉を処分してほしい。
- ・浸水後、多摩川から砂ぼこりが巻き上がるのでどうにかしてほしい。
- ・多摩川の河川敷が砂利だらけになっているので、きれいにしてほしい。

(その他)

- ・前もってダムを水位を下げておいてほしい。
- ・再発しないようにしてほしい。ハザードマップ上では安全な場所であったことが気がかり。
- ・多摩川の状態、潜在的危険性があるなら早めに教えてほしい。
- ・多摩川にポンプを設置するなどハード面で対策をしてほしい。
- ・多摩川の水門を閉めていれば土砂が流れ込むことはなかったのではないか。
- ・河川の管理責任が国と市のどちらにあるのかはっきりしてほしい。追及するとたらいまわしにされて困る。
- ・国が関心を持ち続け、対策を練ってほしい。
- ・昔家屋が流されるようなもっと大きな災害が起こったことがあったのだが、多摩川の改修工事は今後も行われぬのか。国交省の管轄だからなかなか進まないのであれば、市区町村で勝手に工事できるようにしてはできないのか。

○原因究明等についての要望

- ・原因をしっかりと調べて、対策のマニュアル、手順を明確にしてほしい。また危険だとされる基準を分析しなおして、今回の経験を活かしてほしい。
- ・浸水などが発生した後の対応に力を入れてほしい。また今回の件を記録し、ハザードマップの作成などに活用してほしい。
- ・河川の増水氾濫だけではなく、内水により浸水が発生するという知識を今回の経験から普及、活用して対策してほしい。
- ・浸水の理由が知りたい。

○補助金等についての要望

- ・生活の立て直し等に苦勞しているのに、税金措置が通常でしか行われぬのは苦しい。減税などで助けてほしい。
- ・補助金を増やしてほしい。
- ・情報の提供を迅速に行ってほしい。
- ・市の方で難しいなら、国や東京都で復旧費用を負担してもらえないか。
- ・浸水の床上・床下の程度で、支援に差がありすぎるのは問題だと思う。
- ・被害の状況や復旧費用を調査して把握してほしい。床下浸水のあった家に対しても補修費用を全額負担してほしい。調整池をつくってほしい。この調査の結果が出たら教えてほしい。
- ・適切な排水機能の確保をしてほしい。家を建てる上での、敷地の低さなどの危険性があることを知らなかった。

- ・駒井町にだけ補助金が出たことが不満。
- ・土地の水はけが悪く、水害に弱い環境であるのをどうにかしてほしい。
- ・半地下になっている寝室が浸水被害に遭ったが審査で低く見積もられた。
- ・床下浸水の被害者への支援についてもう少し考えてほしい。

○他自治体との連携等についての要望

- ・市や区が独自ではなく、連携して対応し、情報も共有できればよいと思う。
- ・他の市区町村と連携して対策をするべき。
- ・地域の町内会などのネットワークを活かして、助けがいる人に手を差し伸べられるのではないかなと思う。

○国・都への要望

- ・避難所のキャパシティに不足があったため、避難所の設置予算を拡充してほしい。
- ・狛江市が対応できない事態には国や東京都が対応、援助してほしい。またそのための予算を作してほしい。
- ・浸水被害の起きそうな場所が特定できていたにも関わらず、国の対応の初動が悪かったと感じる。
- ・東京都でももっと防災に力を入れて、みんなが分かりやすいようにしてほしい。
対策を万全にしてほしい。
- ・災害が起きた後、どう動けばいいかを質問できて、それに対する回答と質問の情報を発信し、人々が共有できるようにする機関が必要だと感じた。
- ・地球温暖化の影響で今回のような被害が起きるのではないかと不安に駆られる。氾濫、浸水が起きないように対策をしてほしい。
- ・国と自治体で連携を図っていくことが重要だと思う。
- ・国や東京都でも対策をしてほしい。
- ・猪駒通りを4WDの車が走っているのを見たので交通整理ができていないと感じた。

○その他

- ・テレビやラジオで正確な情報を発信してほしい。
- ・災害時、自分で何をしたらいいのかわかるようにフローチャートなどの分かりやすい手段で教えてほしい。
- ・あらかじめ避難しており、テレビでは和泉多摩川は大丈夫と言っていたが、近所の人との情報交換でひどい状態であることを知った。
- ・報道では狛江や二子玉川と一緒にされ、被害の程度などの情報が正確に伝えられていないことが不満です。
- ・狛江市のことは全然報道していなかったなので、実際危険なのかわからなかった。